

当院のボランティアコンサートの様子が紹介されました。

『山形新聞』2015年（平成27年）8月7日（金）



安らぎの大正琴

市立病院で演奏会

米沢

米沢市立病院
で6日、大正琴

の演奏会が開かれ、入院患者や家族が情感あふれる調

べを楽しんだ―写真。

癒やしの時間を提供し、

前向きに治療に励んでもらおうと同病院は年3、4回、演奏会を開いている。今回は旧暦の「七夕コンサート」と銘打ち、市内の愛好者らでつくる米沢琴麗会（吉田文子代表）を招いた。演奏曲は「夏の思い出」「ふるさと」「知床旅情」「星影のワルツ」など懐かしい名曲ばかり。患者らは歌詞カードを手に口ずさんだり、手拍子をしたりして安らぎのひとときを過ごした。

患者励ます大正琴

市立病院でボランティア演奏



米沢市立病院でこのほど、ボランティアコンサートが開かれ、市内の大正琴愛好家が集

う米沢琴麗会（吉田文子代表）のメンバー9人が入院患者を励ましたⅡ写真。

閉じこもりがちな入院生活に癒しの音色を届けようと、同病院が地域の愛好会などを招いて年3〜4回開催している。旧暦の七夕に合わせて「七夕コンサート」と題して実施した。

患者ら約40人が訪れ、「たなばたさま」や「夏の思い出」など唱歌10曲が披露された。大正琴の清らかな旋律が奏でられると、患者らも一緒に口ずさみ、会場は明るい雰囲気にも包まれていた。